

松原市教育委員会 12月定例会 議事録

1. 日 時 令和2年12月23日(水) 午後3時00分

2. 場 所 松原市役所 301会議室

3. 付議事件等

(1) 報 告 第21号 令和2年度松原市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて

出席委員 美濃教育長 栗崎教育委員 田中教育委員 有馬教育委員 和田教育委員

事務局 伊藤教育総務部長 横田学校教育部長
田中教育総務部次長兼文化財課長 浦井教育総務部副理事
岡林学校教育部次長 中谷子ども未来室長
宮本教育政策課長 田中教育総務課長 幸教職員課長 森教育推進課長
前崎地域教育課長 矢野教育研修センター長 吉田福祉部参事

美濃教育長

それでは、会議に入りたいと思います。
本日は、佐野委員が御欠席と連絡を受けております。
ただいまの出席委員は4名でございます。私を含めまして定足数に達しておりますので、会議は成立しております。
これより、12月定例教育委員会を開催いたします。
なお、小川副理事が欠席との届出がございましたので御報告をいたします。
11月定例会の会議録につきましては、まだ出来上がっておりませんので、次回定例教育委員会でお諮りをしたいと思います。
次に、本日の会議録の署名委員を指名いたします。委員会会議規則第17条第2項の規定により、和田委員にお願いしたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

和田委員

お願いします。

美濃教育長

それではまず初めに、教育長報告を行いたいと思います。お手元の資料に基づき報告をさせていただきます。
11月ですが、24日、25日、それから12月4日、15日、それぞれ新型コロナウイルスの感染症対策本部会議が開催されました。
大阪では12月3日に自粛要請など独自の判断基準となる、大阪モデルの赤信号が点灯しまして、できる限りの不要不急の外出自粛要請が呼びかけられまして、現在も継続しているところでございます。
本市においても、生活の維持に必要な場合を除き、不要不急の外出自粛要請を行っているところでございます。
教育活動についても、改めて感染症対策の徹底を実施し、例えば音楽での合唱など感染リスクの高い教育活動については、一部制限を行っているところでございます。
また、11月25日には、大阪府の町村教育長協議会に出席してまいりました。11月18日に総合教育会議を実施しましたが、その際にも議題になっていた情報モラル教育の中で、SNSノートおおさかというのを作っているというのがございましたけれど、これを町村教育長会のほうでも紹介をさせていただいたところです。同様に、27日の都市教育長協議会の役員会でも紹介をさせていただいたところです。
それぞれの皆様方からは、非常に興味深い取組だというようなお声を頂きました。1月8日には、都市教育長協議会の定例会があり、ここでも情報提供する予定ですので、府内の、政令市を除く全市町村の教育長に御紹介ができるものと思っております。
それから、11月30日からは令和2年度松原市議会第4回定例会が開かれまして、本会議では、コロナ禍における学校教育、教員の働き方の現状、経済支援内容、インターネット活用に対する関わり方などについての質問がございました。また福祉文教委員会では、GIGAスクール導入に伴う効率的な活用方法について質問がございました。
また、12月4日は、令和2年度中学生の税についての作文の表彰式に出席をいたしました。
また、12月10日には、松原市国民保護協議会と松原市防災会議が開かれまして、国民保護協議会のほうでは、武力攻撃事態等の発生の際における

避難計画等について保護計画を改定したところです。

また、市の防災会議のほうでは、災害時における人命や建物等の被害を最小化し、災害からいち早く復旧、復興することを目的に市の地域防災計画を改定したところでございます。

また、12月21日には、令和2年度の国際平和ポスターコンテストの表彰式に出席をいたしました。

コロナウイルス感染症がいまだに猛威を振るっているところでございますけれども、換気の徹底、マスク着用など、基本的な対策を含めて、学校現場、教育委員会ともに感染症対策を徹底してまいりたいと思っております。

教育委員の皆様方には、できるだけ速やかな情報提供等を行ってまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

以上、御報告とさせていただきます。

ただいまの報告について、御意見、御質問等、ございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、議事に入ります前に、新型コロナウイルス感染症対策の実施による小中学校の現在の状況について、事務局から報告をお願いしたいと思います。

横田学校教育
部長

6月に学校が分散登校から再開されまして、既に7か月目ということになりました。当初、夏場は熱中症との戦い、昨今は寒さとの戦いということで、学校現場に聞きますと、常時換気で10センチから15センチ、2方向開けている。暖房を強めながらですけども、子どもたちは、意外と中でも薄着で、上着を着てない子もいるというようなことを聞いてますので、安心しています。8月、9月には3校で臨時休業させていただいたんですけど、10月以降、10、11、12月の3か月は臨時休業することもなく、つまり学校内の感染リスクは今のところ生じていないという結果になっています。

修学旅行ですが、前回は御報告しましたように、中学校が7校、既に実施済みです。小学校が、15校中13校が11月末までに終了しました。ただ、12月に予定しておりました天美北小学校と布忍小学校の2校につきましては、レッドステージに変わりました以降でしたので、学校長と教育委員会の相談の上、やはり不安による欠席児童が予想されましたことから延期をいたしました。今のところ布忍小学校は1月29、30日に、天美北小学校は2月10、11日に延期予定です。この延期で実施ができることを祈っておるんですけども、さらにその日程で実施できない場合はさらなる延期も考えているということでございます。

一方で、冬休みが目の前に近づいておりまして、冬休みの日程は12月26日、つまり今週末の土曜日からです。1月4日までということで、例年より4日間短縮しております。終業式が25日、今週の金曜日。そして、始業式が5日ということで、例年よりも短縮された冬休みですが、何とかこの冬休みの間に、子どもたち、先生方が例年どおりリフレッシュして新しい年を迎えられることを祈っております。

一方で、学校のほうは新型コロナウイルスの感染対策としまして、いろんな取組を、ISS、インターナショナルセーフスクールとして取り組んでおられます。実は、先ほども隣接する松原北小学校の6年生2名が市役所に来まして、御存じのパンザマストの注意喚起の録音を、現在流れているのは松

美濃教育長	<p>原中学校の生徒が録音したものですけれども、来週以降は松原北小学校の6年生の、今日録音した注意喚起の放送が流れるということになっております。さらには、今ISS認証に向けて取り組んでおります学校のうち2中校区、そして5中校区の6校が、1月の末に事前指導の予定もございますので、子どもたち、このコロナ禍ですけれども、感染対策に加えて安心、安全な学校づくりに日々取り組んでいるところと聞いておりますので御報告です。</p> <p>ただいまの件について、何か御意見、御質問はございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、ないようですので、これより本日の議事に入りたいと思います。報告が1件、その他が2件となっております。</p> <p>初めに、「報告第21号 令和2年度松原市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明を求めます。</p>
田中教育総務部次長	<p>「報告第21号 令和2年度松原市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて」御説明申し上げます。</p> <p>次のページをお願いします。</p> <p>（項）保健体育費、（目）学校給食費の「学校給食業務事業」で、8,977万7,000円を計上いたしております。これは、小学校及び中学校における学校給食につきまして、2学期に引き続き3学期におきましても学校給食費を無償とすることで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている小学生及び中学生の子を持つ子育て世帯の家計の軽減につながるものでございます。</p> <p>給食の実施日数につきましては、47日分に当たります。小学生については約1万1,000円。中学生につきましては約1万2,000円の負担軽減となるものでございます。</p> <p>以上でございます。よろしく願いいたします。</p>
美濃教育長	<p>説明は終わりました。ただいまの件について、何か御意見、御質問はございませんでしょうか。</p>
和田委員	<p>質問なのですが、今回は一般財源で措置されているんですけれども、国からの補助などは予定されていないんでしょうか。</p>
田中教育総務部次長	<p>2学期にした分につきましては、交付金を活用するという形になっておりますが、3学期につきましては、現在のところ今は一般財源ベースで考えているところでございます。</p>
田中委員	<p>確認なのですが、この予算措置は今年度のみで、次年度は今のところないということなんでしょうか。</p>
田中教育総務部次長	<p>今回の予算措置につきましては、3学期分、今年度分という形になります。この第4回の定例会におきましても、各議員のほうから恒久的な無償化というふうな御意見のほうが出ております。それにつきまして、市長のほうは、</p>

今後保護者の意見を聞いていくというふうな御答弁がありましたことを御報告させていただきます。

以上でございます。

美濃教育長

すごく大きな財源も必要なことなので、軽々にやりますということとは言えないんだということも市長は答弁の際には述べていたように思います。

他に何かございますでしょうか。

よろしいですか。

ないように見受けられますので、「報告第21号 令和2年度松原市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて」を、承認することに御異議ございませんか。

各委員

（異議なし）

美濃教育長

異議なしと認めます。

よって、「報告第21号 令和2年度松原市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて」は、承認されました。

続きまして、その他案件に入ります。「令和2年度のインターナショナルセーフスクールの日程について」の説明をお願いいたします。

森教育推進課長

「令和2年度のインターナショナルセーフスクールの日程について」ということで、令和2年度と令和3年度の日程を併せて御紹介させていただきたいと思います。

令和2年度につきましては、先ほど部長からも御説明ありましたように、1月28日、29日に松原第2中学校区、第5中学校区、合わせて6校との事前指導を頂くことになっております。本来であれば、教育長、教育委員の皆様にもぜひこの事前指導に参加していただき、お褒めの言葉や激励を頂きたいと思っていただるところではございますが、インターナショナルセーフスクールの取組も含めて学校に訪問するというので、なるべく少ない人数で白石先生をお招きしての御指導ということで、子どもも教師も、我々も最低の人数でいきたいというふうに思っております。教育委員会の場面で、事前指導の状況については御報告をさせていただきたいと思いますので、令和2年度のインターナショナルセーフスクール事前指導につきましては、担当課で参加させていただきたく、御理解いただきますようお願いいたします。

令和3年度の予定についてはここに書いてあるとおりで、少しタイトといえますか、もともと松中、6中校区が今年度の予定から、来年度、令和3年度に移りましたものですから、少しスケジュールが詰まっているところがございますけれども、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえながら、適切に対応していきたいというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。ただいまの件について、何か御意見、御質問はございますか。

有馬委員	この日程は結構前から決まっていたと思うんですけども、今コロナ対策、タブレット導入で先生方、学校が大変な中、学校側の負担というのは大丈夫なんでしょうか。
森教育推進課長	御指摘いただいたように、日程のほうは以前から決めておったところですが、やっぱりこの状況でありますので、負担がなるべくかからないように。その辺りは白石先生のほうにもお伝えをしております、事前に資料を提出しておくとか、そういった状況を踏まえまして、私たちの打合せを十分にしておるところでございます。 ですので、取組を御報告いただいたり、準備については学校に御負担をかけるところはあるんですけども、それも本当に必要最低限にできるようにということで、対応していきたいと思っています。ありがとうございます。
美濃教育長	他にございますでしょうか。 よろしいですか。 次に、その他案件の「令和3年度公立幼稚園入園児募集に対する応募状況の報告について」の説明をお願いします。
吉田福祉部参事	令和3年度の幼稚園の募集状況でございますが、三宅幼稚園につきましては、認可定員が4歳、5歳ともに70人定員のところ、4歳児が11人、5歳児8人ということで、19人、応募をさせていただいております。 四つ葉幼稚園につきましては、3歳、4歳、5歳、70人ずつの定員のところにつきまして、3歳が43人、4歳が48人、5歳児が50人ということで、合計141名の入園希望を今頂いているところでございます。 以上でございます。
美濃教育長	ありがとうございます。ただいまの件について、何か御意見、御質問はございますでしょうか。
栗崎委員	締切りはいつですか。もう終わっているんですか。
吉田福祉部参事	当初の申込みにつきましては、10月1日から10月13日まで受けておりましたが、定員が空いている部分につきましては、今後も先着順で受付をしていく予定です。 以上です。
栗崎委員	ありがとうございます。
田中委員	認可定員と応募人数を見てみるとかなり差が激しく、応募人数がかなり少ない。これが例えば一般の会社であれば経営が成り立たないと思うんですけども、こういった観点から見ると、この人数というのはどうなんでしょう。
中谷子ども未来室長	認可定員は、当初その建物を建てたときとかの状況で、面積等の基準があり、当時建てたときの需要に応じて認可定員を設定していたんですけど

	<p>も、昨今お母さんとかが就労に出た関係で、保育所のほうに流れている傾向がありますので、あくまで認可定員とイコールにならなくても、経営的な観点から、それは問題ないかなと思います。</p> <p>認可定員があくまで認可上の人数、最大限受け入れられるという目安になっておりまして、実際入られるお子さんの状況によって職員の配置等は考えていきますので、その点は経営的には問題ないとはっております。</p> <p>以上でございます。</p>
田中委員	<p>問題なければいいんですけど、例えば認可定員というのは、あくまでもそういう意味での定義だということなんですけども、この人数に対して職員の数を設定しているというわけではないんですね。要は、あくまでも実際の子どもたちの数に職員の数を合わせているということですね。</p> <p>したがって、例えば子どもがたくさん入ってきたら、職員をまた補充するということですね。</p>
中谷子ども未来室長	はい。
田中委員	そういうことは、すぐにできるんですか。
中谷子ども未来室長	はい。そちらのほうは、また柔軟に対応していきたいと思っております。以上でございます。
栗崎委員	今の質問を受けまして、募集の周知というのとはどのような方法でされていますか。広報誌だけですか。
吉田福祉部参事	<p>広報誌にはもちろん載せさせていただいておりますが、幼稚園等、いろいろな施設等に園児募集のポスターを貼らせていただいております。</p> <p>その上で申込み等も受けながら進めているところです。</p> <p>以上でございます。</p>
栗崎委員	大体どれぐらいまで申込みできるのですか。
吉田福祉部参事	基本的には年度内というところになると思うのですが、それ以外でも転入されてきた方で希望とかもございますので、そのところは柔軟に対応しているところです。
栗崎委員	ありがとうございます。
美濃教育長	<p>他に何かございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>案件は以上ですが、他に事務局から何かありますか。</p> <p>今年はコロナに始まりコロナに終わったという感じで、あっという間に一年が過ぎた感がありますけれども、これからも我々としてすべきことをしっかりやりながら、学校の営みがしっかり続いていくようにしなければいけな</p>

いなと思っております。

それでは、以上をもちまして12月の定例教育委員会を終わりたいと思います。本日はありがとうございました。

(閉会宣言午後3時23分)

署 名 教育長 美濃 亮

委 員 和田 良彦